

パロマ瑞穂スタジアム

# STADIUM

公園とシームレスにつながる  
あらゆる人に開かれたスタジアム。

国際大会の開催も可能となった世界基準のスタジアム。陸上競技・サッカー・ラグビー・アメフトなどの舞台ともなり、フィールドを360度包む全席屋根付き約3万席のスタンドが沸き立つ一体感を生み出します。スタジアム周りのコンコースから公園内へつながる8の字回遊路「MIZUHO-LOOP」を設け、平常時は散歩やランニングを楽しむこともできます。また、インクルーシブデザインの採用、環境への配慮、旧陸上競技場のメモリアルの整備等も施し、誰もが楽しく心地よく過ごせる公園と一体的なスタジアムを実現しました。

## 01

大規模イベントが  
開催されていない日は  
コンコースを開放  
本格的なトラックで  
ウォーク&ランが楽しめる

平常時は、3Fコンコースを公園園路と同様に、だれでも利用することができるように開放します。コンコースは公園全体の回遊路「MIZUHO-LOOP」の一部になっており、屋根がある、安全で快適なランニング・ウォーキングコースとなります。

パロマ瑞穂スタジアム  
Paloma Mizuho Stadium

## 02

## 約3万人を熱狂の渦に包む 全席屋根付きスタンド



### 一体感を生むスタンド

全席屋根付きの観客スタンドが360度ぐるっとフィールドを囲い、一体感を持った観戦環境を提供します。



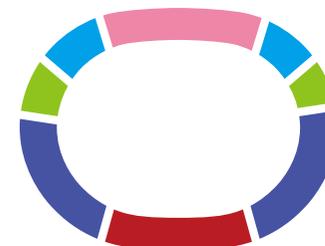
### 「熱狂の渦」を表現する膜屋根デザイン

屋根は鉄骨を渦状に配置し、熱狂の渦をダイナミックに表現しました。シンプルかつ効率的な設計で自然の影響にも強い、美しく機能的な構造となっています。



### どの席からも見やすい観客スタンド

コンパクトな敷地の中でも、どの席からも見やすい配席設計実現のために、テクノロジーを活用し綿密なシミュレーションを行いました。また、フィールドを取り巻く楕円型のスタンド形状はエリアによって曲面構造を5区分の曲率で設計。見やすさとフィールドとの一体感を追求しました。

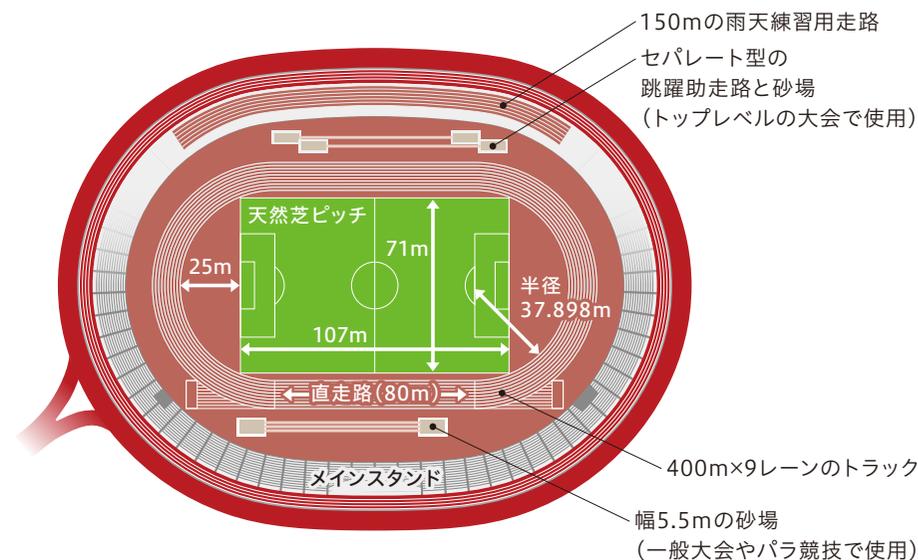


フィールドを取り巻くスタンドを5つの曲率で構成  
均等な楕円構造ではなく、スタンド各所が最適な視野  
を確保できるように曲面を変えて設計しました。

## 03

## 陸上競技・サッカー・ラグビー・アメフトなど 多様な競技・大会に対応

陸上競技・サッカー・ラグビー・アメフトにも対応できる多目的スタジアムとして、トラックやピッチを整備しました。国際規格を満たし、パラ陸上競技にも対応した仕様になっています。



## 04

## 多様なニーズに応えられる 座席バラエティ

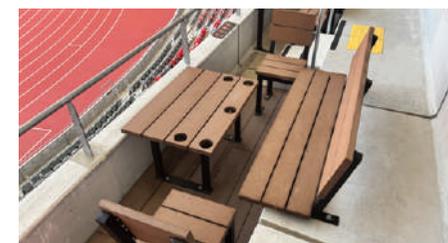
背もたれ付きの個席化を基本に、グループシートやソファ席、スペシャルシートを設置。  
車いす席やVIPルームも備え、誰もが目的に応じて快適に楽しめる観戦環境を整えています。



ペアシート



ソファ席



グループシート

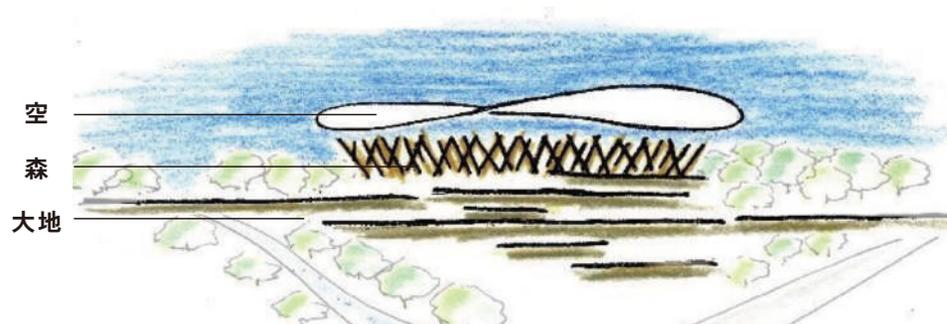
## 05

## 公園の風景と一体になる 空、森、大地をモチーフにした外観



### 市民の日常に寄り添い、公園の風景となる存在へ

伸びやかな空の下に広がる住宅街に立地するスタジアムとして、土地の風景と調和し、地域の象徴となる姿を目指しました。「空」に浮かぶ雲のような膜屋根、「森」のように周囲の木立に溶け込む外装、「大地」のような段丘状のデッキにより、この場所に相応しい自然や公園と一体となった姿とします。



### スタジアムと公園をつなぐ「木々のシンボル」

木々をモチーフとしたシンプルな形をデザインコードとして、スタジアム外装の木格子や回遊路「MIZUHO-LOOP」の柱形状などに展開しました。



瑞穂の緑をつくる木々



抽象化したシンボル



# 06 あらゆる人の安心と快適を考えた環境づくり

誰もが快適に過ごせる環境づくりを目指してスタジアムを設計しました。

大会主催者・利用者のなど、多様な人を設計プロセスに参加頂きながら、ともに考えて作り上げた共創型のスタジアムです。

## バリアフリールートの整備

回遊路「MIZUHO-LOOP」を中心に、公園園路をエレベーター・スロープ等につなげ、公園内を安全に巡れるルートとして整備しました。スタジアムの主動線となる3階コンコースには大型エレベータや各方面からのスロープを介して、誰もがアクセスしやすい施設としています。



## 車いす利用者席約300席、難聴者用ヒアリングループ席約100席

車いす利用者席として約300席、難聴者用ヒアリングループ席※を約100席を、複数か所に分散配置。

※座席下に配置したコイルによる磁界を用いて、補聴器や人工内耳を使用している方がスタジアム内の音声をクリアに聞くことができる座席。



## 誰もが感覚的に分かるサイン

ピクトグラムを使ったサインを中心に、言語が異なる来場者にも分かりやすい会場案内を整備しました。またデジタルサイネージの配置や、国際大会開催時等にも分かりやすい英語併記のサインも設置しています。



## バリアフリートイレ、ベビーケアルーム、カームダウン室、センサリールーム

多様なニーズに応えられる設備を分散配置。誰もが快適に安心して過ごせる環境整備をしました。



## 07 国内最高水準の環境性能と環境への配慮

### 建物環境認証

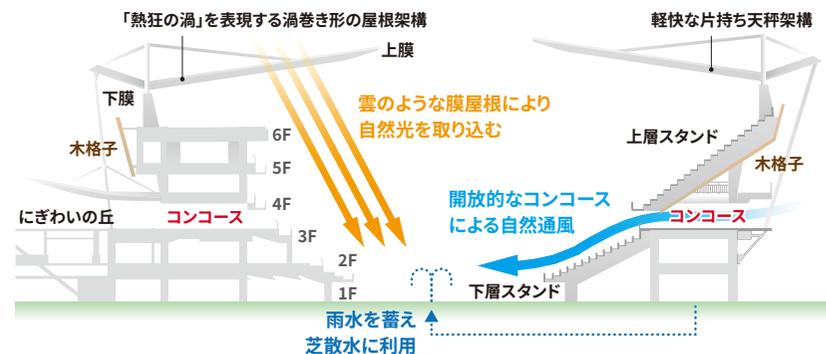
新スタジアムは省エネルギー性能においてZEB Ready(※1)、BELS★★★★(※2)、環境性能においてCASBEE Sランク(※3)の第三者認証を取得しており、総合型スタジアムで国内最高水準の環境性能を有するスタジアムです。

- ※1 建物で通常想定される年間のエネルギー消費量が、再生可能エネルギーを除く省エネの取組により、50%以上削減した建築物。
- ※2 建築物の省エネルギー性能に関する第三者認証による評価。星の数で5段階評価され、星5つが最高ランク。
- ※3 省エネや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建築物の品質を総合的に評価するシステム。



### 自然の力を活用した、環境に優しいスタジアム

スタンドの屋根は自然光を通す膜屋根とし、電力利用を抑えながら明るい観戦環境を提供します。また屋根の素材に太陽光によるセルフクリーニング機能を持つ光触媒テントを使ったり、雨水を芝の散水に活用するなど、維持管理段階でも自然の力を活用しています。



## 08 旧陸上競技場のレガシーを未来に継承

### 旧陸上競技場レガシーを公園各所に配置し記憶を継承

- 壁面レリーフをパークラウンジの壁に移設しました。
- 記念碑・記念樹をスタジアム南側の山手グリーンロード沿いに移設・移植しました。
- 旧陸上競技場の観客席を3階コンコースに移設しました。
- 旧フィールドの芝の一部を瑞穂橋横のあいのひろばに移植しました。



旧陸上競技場に裝飾されていたレリーフをパークラウンジ(にぎわいの丘1階)に設置しました。



旧陸上競技場正面に設置されていた記念碑等をスタジアム南側に移設しました。



地域の皆様から寄贈いただいた記念樹をスタジアム南側に移植しました。

## 09 スタジアム建設時の伐採樹木等をアップサイクル

### 整備事業内でのアップサイクルへの取組み

大切な木材資源を無駄なく活用しました。

- 新スタジアムの外装材の木端材を、LOOPステーションの内装・什器デザインに活用しました。
- 伐採樹木を公園ベンチに再生し公園の中心である回遊路「MIZUHO-LOOP」に設置しました。



公園

# PARK

今日はどこ行こう？何しよう？  
からだ、こころが動き出す公園へ。

24ha(240,000㎡)もの敷地に広がるスポーツ・自然・歴史の魅力を再編集して公園全体をリニューアル。地域の声を取り入れてより安心して遊べるようになった各ひろば、話題のスポーツを体験できるアーバンスポーツひろば、縄文の歴史を身近に感じられるおおぐるわ広場・展示室「おおぐるわ縄文ミュージアム」、交流や防災の拠点となるP-LOTなどを整備。各スポットをつなぐ回遊路「MIZUHO-LOOP」により、園内散策を一層楽しく、訪れる人の数だけ楽しみに出会える公園へと進化しました。また川や公園、スタジアムを緑でつなぎ、人にも生き物にも心地よい環境を整えました。



地域の声を反映した個性豊かなひろば。

明るく、楽しくリニューアル。

各所のひろばの内、4つは設計段階で地域の皆様とワークショップを開催し、その意見をもとに設計や運営に反映させました。全体として一体感のあるインクルーシブな公園に再整備し、各ひろばに個性を持たせ、利用者がニーズに合わせて選べるようにしています。



## 01 開放的なのびのび空間 南ひろば

瑞穂公園の玄関口として、最大の広さを有するひろばです。

シンボルとして親しまれてきたメタセコイア等の木々や、遊び方を継承・充実させ、インクルーシブ遊具\*や小さなお子様向け遊具ゾーンを新たに設置。身体を動かしたり、ゆっくりと休憩ができるひろばにしました。既存林を明るく見通しの良い空間に改良することで、山崎川や散策路とひろばがつながり、シームレスに楽しめるようになりました。キッチンカーも乗入れ可能な約3,500㎡の芝生ひろばを新たに設け、幅広くイベントが開催できるようになりました。

\*年齢・障がいの有無に関わらず、誰もが一緒に遊べる遊具



02



### 子どもたちの冒険王国 東ひろば

高低差を利用し、子どもたちが思い切り身体を使って冒険遊びができるひろばです。人気のブランコはインクルーシブにリニューアルし、基数も増やしてみんなが楽しめる遊具にしました。木陰を提供する高木は継承しつつ、見通しの良い開放的でやすらぎも感じられるひろばになりました。

03



### 山崎川沿いのオアシス 北ひろば

山崎川散策路と一体的なくつろぎのひろばです。芝生ひろばや寝転びベンチ、ハンモックを整備し、山崎川散策路から立ち寄りやすいくつろぎの場に整備しました。植樹イベントで市民やプロスポーツ選手と共にサクラを植樹しました。

04



### まちなか森林浴さんぽ 木かげひろば・木のはひろば

既存木を活かした明るい森を主体に、まちなかで木々の下を散策できる憩いのひろばです。モミジやカエデなどを織り交ぜ、季節を感じられる遊歩道として整備しました。また、将来を見据え苗木も植栽しています。園路には、森を見通しながら休憩できるベンチも整備しました。

05



### 多様な用途・楽しみ方を提供 「P-LOT」「88の体感ループ」

- 公園利用者がイベント等で活用できる可変型の拠点「P-LOT」を5か所に設置。
- 公園内をより楽しんで周遊いただけるよう、公園の魅力やスポーツ関連の情報を掲載したサインを公園内に88か所設置しています。

訪れる楽しみ、  
交流する喜びを広げる、  
新スポット。

## 06

### 注目の競技が楽しめる アーバンスポーツひろば

競技スポーツとしての注目が集まる「3×3バスケットボール」と「スケートボード」を身近に楽しめるエリアを野球場・ラグビー場隣接地に整備しました。



●北アーバンスポーツひろば(3×3バスケットコート)  
野球場南側の旧水の広場に整備。ハーフコートサイズで整備し、ボールの飛び出しがないように外周部にフェンスを設置しました。

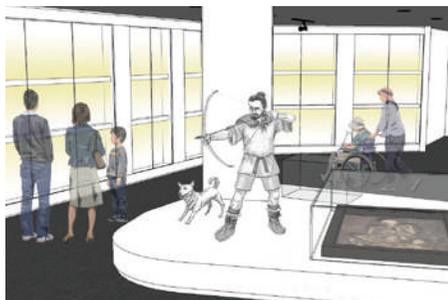


●南アーバンスポーツひろば(スケートボードリンク)  
ラグビー場北側に整備。気軽にスケートボードを体験できる基礎レベルのセクションを中心に配置しました。

## 07 国指定史跡「大曲輪貝塚」を身近に おおぐるわ広場・おおぐるわ縄文ミュージアム

国指定史跡「大曲輪貝塚<sup>※</sup>」を身近に感じられる芝生ひろばと展示室を整備しました。芝生ひろばには出土品の発掘場所の表示や縄文土器の文様などを設置するとともに、縄文時代の暮らしに関するヤマモモやどんぐりの木を植樹し当時の暮らしを感じられるようにしました。史跡展示室は、出土品展示やこの地の縄文時代の生活風景の再現映像などで、わかりやすく解説します。

※昭和14年に発見され、昭和16年に「大曲輪貝塚」として国の史跡に指定された、縄文時代前期・後期・晩期の貝塚。これまで多くの土器、石器、人骨などを含む貝塚の存在が明らかになっている。



## 08

みんなの集いの場  
にぎわいの丘

公園のにぎわいの中心となる立体的なオープンスペースを整備しました。  
スタジアムの玄関口として情報発信、交流、ライフスタイルの拠点となります。



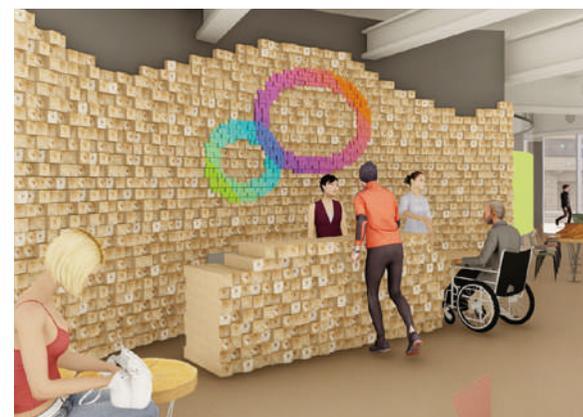
## マルシェ、イベントも開かれるひろば にぎわいの丘

最上部の3階には、公園の中心である回遊路「MIZUHO-LOOP」とつながるひろばを設けました。日常では憩いの場になるほか、イベント時はキッチンカーやブース出店も可能なにぎわいの場になります。



## 公園とコミュニティの拠点 パークインフォメーション

「にぎわいの丘」の3階にパークインフォメーションを設置。公園全体のコンシェルジュの機能の他、地域交流活動や休憩ができるスペースも備えています。



2027年春オープン予定

## にぎわい施設 (ショップスペース)

山手グリーンロードや公園に面するにぎわいの丘1階・2階エリアに、ショップスペースがオープンします。瑞穂公園がもっと楽しくなる店舗が出店予定です。

## 09 みんなで育てる花と緑 グリーンフラワープロジェクト

市民が公園づくりに参加する「グリーンフラワープロジェクト」として、以下のような活動を行いました。(2024年、2025年実施例)

### 花壇づくり

南ひろばの花壇「LOOP GARDEN」は、宿根草をメインとした持続可能な花壇をテーマにしています。また、苗植えから地域の皆さんと共に行い、日常のお手入れにもご参加いただくことで、コミュニティガーデンとなっていくことを目指しています。これ以外にもハーブ園を整備し、市民の方々と協働で作業し、やすらぎひろばではボランティアと共に花壇作りやグループ花壇のサポートをしました。



### 公園での活動「コットン部」「ハーブ部」

コットン部では月に2度の全体活動をメインに、種からコットンの栽培を行い、冬にははじけたコットンの実でリースづくりを行いました。ハーブ部ではハーブ園を整備し、育てたハーブを活用した石けんづくりやレモングラスでのしめ縄づくりを行いました。



### 季節ごとの装飾

公園内の植物に親しみながら季節を感じる機会として、地域の学生とともにハロウィンやクリスマス装飾をしました。また近隣病院にも出向き、公園素材を用いたクリスマス装飾を行い、患者さんや医療従事者の方々へ心安らぐ空間を提供しました。



## 公園の自然と生物を守る、環境保全への取り組み。

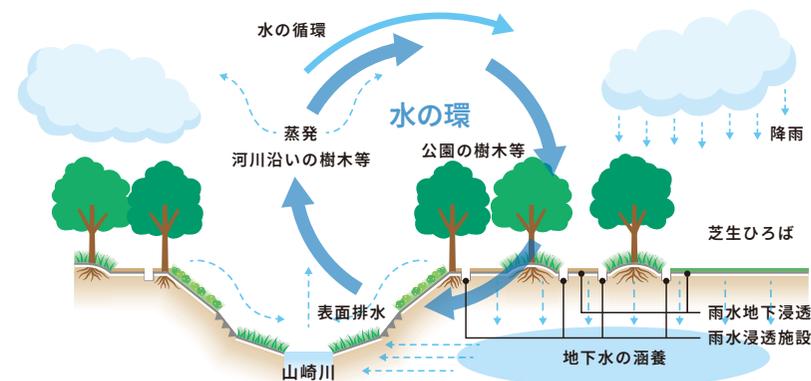
## 10 水とみどりのネットワーク

生態系ネットワーク形成に貢献するよう、水とみどりの連続性を強化しました。スタジアムや野球場の周りを緑化し公園内のみどりが連続的に繋がる整備を行います。山崎川沿いに親水性の高い環境を作るとともに、サクラ並木景観の連続性を補完するよう、サクラの新植を行いました。生態系ネットワーク形成に貢献するよう、河川と公園間の連続性をつくり、園地にも鳥類や昆虫類などの生き物の生息域ともなる草地環境を創出しました。



## 11 雨水を地中に浸透させる グリーンインフラ

南ひろばの芝生の土の下に碎石を敷き詰めた貯留浸透層を設け、雨水を一時的に貯留して、時間をかけて土中に浸透させています。芝生の水はけをよくするための排水板も土中に設置しています。名古屋市公式ウェブサイト上に健全な水循環の回復に向けた取組として掲載されております。



名古屋市  
公式ウェブサイト

